

南風2022

あしたは もっとたかく
～ 笑顔と本でいっぱい学校 ～

2022南中学校通信

第9号

令和4年12月2日

校長 齋藤 孝太郎

期末テストを終えて…できなかった部分より、できた部分を

2学期末テストも終わり、今年度も3分の2が終了し今年もいよいよ残り1か月となりました。今月初めから、期末テストの答案がお子さんの元に返っていると思います。保護者の皆さん、ご覧になりましたか？もしもまだなら、お子さんに声をかけて、見せるように言ってください。点数や解答の内容を見て、わが子の学習に対する理解の状況を把握すると同時に、わが子に対する思いを伝える良い機会となると思います。

その際、点数だけを見て、叱ったり、説教したりしてしまいがちなのですが、点数の良し悪しで「叱る・ほめる」というのは、あまり良いことではないと私は思っています。正解のところ(丸がついているところ)は、できているのでそのまま、できていないところ(バツがついているところ、空欄のところ)ばかり指摘してしまう…。できていないところを指摘し、補うのは学校が担っている役割です。では、家庭が担っている役割とは、何でしょうか？まず、できたところに着目してほしいんです。すると、テストで思い通りの点数が取れてなくても上手くほめることができます。「この問題、難しいのによく解けたね」とか「記号問題、全部あってる！すごい」、「前回のテストより、正解が多くなったね」とか、そういう言い方をすればいいのだと思います。あわせて、テスト期間中の生活についても、できなかった所ではなく、良くなったところをほめてください。できているところ、できたところ、成果につながったところをほめると、子どもはきっと「もっとほめられたい。もっと勉強するぞ」とやる気を出すのではないのでしょうか。いかに“やる気になる環境”を作るかだと思います。ぜひ、よろしくお願いします。また、定期テストの点数は、本人の学習に対する理解度をはかる「ものさし」の役割を持っています。決して他人と自分を比べる「ものさし」ではありません。点数にこだわる学習だけでなく、興味を持って取り組む学習や目標を持って取り組む学習を心がけることが、これからの人生の学びを進めていく中学生にとって、とても大切なことだと思います。



大学入試が大きく変わり、今までの「大学入試センター試験」は廃止され、「大学入学共通テスト」に移行されました。今までと違った特別な対策が必要という訳ではないと思いますが、より新しい時代に求められている学力が試される内容になったのは確かです。知っているだけではなく、応用できるレベルまで理解できているかどうかが問われます。だから、単に教科書に書かれていることを覚えるだけでなく、毎日の生活の中や身の回りの自然、そして、社会の中で起こっている現実など、広い視野で自分の身の回りを眺め、「見て」「聴いて」「知る」、そして、「活かす」「創り出す」ことこそが学習です。中学校で習得した知識を土台とし、そこから自ら興味を持って取り組み、深めていくことができる力こそが真の学力であり、これからの社会が求めている学力なのだと思います。自分と他人を比べる学力よりも、自分自身を伸ばすための学力を身につけるために、返ってきたテストをもとに、お子様と共に2学期末の振り返りをお願いします。



大学入試が大きく変わり、今までの「大学入試センター試験」は廃止され、「大学入学共通テスト」に移行されました。今までと違った特別な対策が必要という訳ではないと思いますが、より新しい時代に求められている学力が試される内容になったのは確かです。知っているだけではなく、応用できるレベルまで理解できているかどうかが問われます。だから、単に教科書に書かれていることを覚えるだけでなく、毎日の生活の中や身の回りの自然、そして、社会の中で起こっている現実など、広い視野で自分の身の回りを眺め、「見て」「聴いて」「知る」、そして、「活かす」「創り出す」ことこそが学習です。中学校で習得した知識を土台とし、そこから自ら興味を持って取り組み、深めていくことができる力こそが真の学力であり、これからの社会が求めている学力なのだと思います。自分と他人を比べる学力よりも、自分自身を伸ばすための学力を身につけるために、返ってきたテストをもとに、お子様と共に2学期末の振り返りをお願いします。

自分と他人を比べる学力よりも、自分自身を伸ばすための学力を身につけるために、返ってきたテストをもとに、お子様と共に2学期末の振り返りをお願いします。

伝達表彰を行いました。

新チームとなって、初めて挑んだ新人戦の結果は、3年生が中心となって挑んだ夏の大会と同様に素晴らしい「結果」を収めることができました。（新人戦の結果については、10/19発行の南風号外や、HPの記事をご覧ください。）3年生が残してくれた伝統を、後輩たちはしっかり引き継いでくれたようです。また、学校代表として臨んだ「駅伝大会」についてもベストパフォーマンスを発揮してくれました。しかし、いつも言っていますが大切なのはこの「結果」を「成功」へ導くことです。昨日よりも今日、今日より明日、例え少しでいいので「向上心」をもって前進あるのみです。以下、10/19発行の南風号外で紹介しきれなかった結果等を紹介します。



【陸上】第75回三重県中学校陸上競技大会 男子3000m 第3位 9分10秒96

【剣道】三泗地区剣道新人大会 女子個人Bの部 第3位

三重県中学校秋季剣道錬成大会 女子団体の部 第5位

【駅伝】第67回三泗地区駅伝競走大会 男子の部 第6位 県大会出場

区間新記録（2区） 区間新記録（4区）

第38回三重県中学校駅伝競走大会 男子の部 第5位

第67回三泗地区駅伝競走大会 女子の部 第6位 県大会出場

【吹奏楽】こども音楽コンクール中部日本決勝大会 中学校 管楽合奏部門 優秀賞 第二位

【その他】学校代表等

- ・「いじめ防止のぼり旗」標語募集 優秀賞 1名
- ・中学生のメッセージ2022（第44回少年の主張三重県大会）地域優秀賞 2名
- ・三泗地区中学校英語スピーチ及び英作文コンテスト
学校代表 スピーチの部 1名 英作文の部 2名
- ・第68回青少年読書感想文三重県コンクール 優秀賞 1名 入選 2名
- ・第66回日本学生科学賞三重県展 最優秀賞 三重県総合博物館賞

皆さんの活躍や取り組みは、学校内だけでなく保護者の方や地域全体に活気や笑顔をもたらします。今後も南中から積極的に「やる気」「元気」「活気」を発信していきましょう！

南中ピンクデー「ピンクで広げよう平和の輪！」

11月29日（火）生徒会本部が中心となり「南中ピンクデー」を実施しました。「南中ピンクデー」とは、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動」がもとになっています。この日「ピンクで広げよう平和の輪～みんなで一斉にアクションを起こそう！いじめ追放！一斉行動！」をスローガンとし、南中のみなで「ピンク色」のものを見たときに、差別（いじめ）をなくす強い意志を持つことを確認しました。もちろん先生方も、ピンク色のマスクを着用するなどし、生徒と共に行動を起こしました。



【お知らせ：保護者の皆様へ】12月13日（火）、14日（水）、15日（木）に三者懇談会を実施します。

懇談時間は10分程度とさせていただきます。（詳細は、各担任より配付の予定表をご覧ください）

【懇談の内容】2学期の学習、生活について、冬休みの学習、生活について など

※3年生については、受験（検）校決定・就職等についての懇談となります。